

ほのほの塔南

2019年春号 (No.25)

作成: 広報委員会 高橋みゆき

社会福祉法人 京都福祉サービス協会
総合福祉施設 塔南の園
〒601-8445
京都市南区西九条菅田町4-2
TEL 075-662-2731
FAX 075-662-2735



とうなんのその



<http://www.tounan-no-sono.or.jp>

職員日記



介護職になって9年目になりました。沢山のお別れを経験してきました。その中でも思い出深い、K様という男性ご利用者様のお話です。

塔南の園のデイサービスをご利用されていたK様は、奥様とお二人で暮らされていました。玄関のチャイムを鳴らし、「おはようございます！お迎えにあがりました」と玄関をガチャと開けると、奥様は「ほら！迎え来たよ！モタモタしないで早くしなよ！！」とK様を急かされます。それに対してK様は少し笑みを浮かべながらゆっくりと玄関で靴を履き、送迎用の軽車両に乗られます。奥様は「谷山君に迷惑掛けんじゃないよ！楽しんでおいで！」と送り出されました。送迎車の中でK様が、「うちのかあちゃん怖いんだよ！ちゃきちゃきの江戸っ子だから、口が悪いんだよ。」と笑って話されました。確かに奥様は口が悪いんですが、K様への愛情そして絆を深く感じました。

夕方になり、K様をご自宅にお送りさせてもらい、玄関のチャイムを鳴らしました。いつもなら「はいはい、今開けるからね」と聞こえるはずの音が聞こえませんでした。何度もチャイムを鳴らし、ドアを叩くも返事が返ってきません。帰宅される時間にお出掛けする事は今まで一度もありませんでした。その瞬間胸騒ぎがしました。急いで裏口に回りましたが、扉は鍵が掛かっています。どんどん嫌な予感がよぎったその時、お風呂場の窓が少し開いているのを発見しました。無我夢中で小さな窓から自宅に入ると、奥様がトイレの中で倒れているのを発見しました。すぐに救急車で搬送されましたが、数日後お亡くなりになりました。その後のK様は喪失感が大きく、1か月後に後を追うようにお亡くなりになりました。K様にとって、奥様の存在はとても大きかったのでしょうか。

“イギリスの71年連れ添った老夫婦の強い絆 4分差で天国へ”というニュースを拝見しました。日本でも、女優の浅丘雪路さんがお亡くなりになり、後を追うように津川雅彦さんがお亡くなりになりました。私も今年45歳になり人生折り返しです。自身の最期を迎える時、側に奥さんがいるのだろうか？K様のご自宅の近くを車で通る時にふっと考えるようになりました。夫婦の絆は不思議なものです。

特養 ケアワーカー 谷山 忠司

★新一年生を迎える会～



名札はデイのご利用者に作成を依頼しました。ひとつひとつデザインが異なる一点物です。



スタートの春です。新しく塔南の園児童館に入館する新一年生を迎える会を開催しました。ランドセルを置く棚に使用する名札をプレゼントしました。少しはすかしそうにしながらも、喜んで受け取ってくれました☆



パン販売リニューアル

毎月、第2水曜日・第4火曜日に西寺育成苑さんによるパン販売をしています。ご利用者も西寺育成苑さんのパン販売をとても楽しみにしています。この4月からパンの内容がリニューアルしました。どれを買おうか迷ってしまいます。児童館に来たママさんたちも買いに来ます。販売は11時ごろから1時間くらいです。どなたでも購入していただくことができますので、是非、足を運んでみてください。



新入職員 紹介コーナー

★新入職員への質問★

- Q1…氏名
A…清水咲 (しみず さき)
- Q2…趣味
A…絵を描くこと、ラジオを聴くこと、朝ドラを観ること
- Q3…介護の仕事を目指したきっかけ
A…高校生の頃所属していた吹奏楽部で、特別養護老人ホームで訪問演奏をし、雰囲気を知ったのがきっかけです。
- Q4…就職に京都福祉サービス協会を選んだ理由
A…職業紹介にて、職員の方の優しさがとても嬉しかったのがきっかけです。
- Q5…未来の私(今後の目標)
A…楽しく笑顔でいたいです。



よろしくだよ～♪

★ひとこと★

たくさんお世話になります。よろしくお願いいたします。()!



避難訓練をしました

3月22日に春休みに入った児童館と合同で避難訓練をしました。
施設では年2回の避難訓練が義務付けられています。
今回の避難訓練は地震発生後に火災が起こったことを想定して行いました。



子どもたちも体を低くして頭を守ります。



火災発生
初期消火開始！！



九条塔南消防分団も避難訓練に駆けつけてくれました。
ご協力、ありがとうございました。

お花見に行ってきました



車で天神川の桜を見に行ったり、十条公園まで散歩しました。
「桜がいっぱい咲いてキレイですね」と声をかけると
「そうやね」とまじまじと見ておられました。

「認知症かな？」と思ったら ～病院に行くべきときは～

ご家族が「認知症かな～??」と思ったら、またご本人が「もの忘れがひどい、認知症かな～」と心配になったら、できるだけ早く専門医を受診しましょう。その理由は2つあります。

1つ目の理由。認知症には、脳の神経細胞が変性して徐々に進行していくアルツハイマー型認知症などの本来の認知症と、高血圧、糖尿病、高脂血症、心不全、慢性呼吸器疾患のように身体の病気や脳卒中、正常圧水頭症、硬膜下血腫などの脳の急性の病気などで、一時的に認知症になり、身体の病気の治療により認知症が改善する「治る認知症」の2つのタイプがあります。ご家族が「認知症」と疑った時に、それがどちらのタイプの認知症なのかをできるだけ早く鑑別する必要があります。特に「治る認知症」のタイプは、その原因となっている病気を治療することで認知症の症状も消失し、放っておくと本来の認知症に発展してしまうからです。例えば、夏の時期の熱中症では、その最初の症状として、脱水症状に加えて認知症の症状も現れます。そこで点滴などで水分を補給することで、脱水が改善され、認知症も改善されます。

また、風邪の薬や精神の安定剤など、よく使われているクスリの中には、人によって一時的に認知症になってしまうものもあります。その場合は、吞んでいる薬をやめなければいけません。

このように、ご家族が「認知症かな？」と思ったら、「認知症だからしかたない」「治らない」と決めつけずに、ご本人の身体の状態をチェックし、「治る認知症」であれば、できるだけ早く治療を施す必要がありますので、かかりつけ医に必ず相談してください。

2つ目の理由。ご家族が最初に「おかしい」と思った事は、家族も本人も今すぐに「何とかしなければならぬ」という危機感に満ちた症状でないことが大半で、また「歳のせい」と病気とは考えようとしませんか、どうしても医療機関への受診が後回しになりがちです。

家族が最初に気づいた頃は、多くの場合、軽度認知障害と言って、認知症ではないが、記憶力は同じ年代の人と比べると多少落ちている状態です。この時期に治療を開始することで認知症に伸展することを防いだり、その発症を遅らせたりしますので、上記の1つめの理由と同じように、早期に医療機関に相談してください。いずれにしても、認知症は「病気」ですから、ごく初期に、また軽度認知障害の状態を受診し、本当の認知症にならないよう医療に相談しましょう。またできるだけ早い時期に治療を開始してその進行を抑えるようにしましょう。

認知症ねっと ユッキー先生のアドバイスより

<https://info.ninchisho.net/> 認知症ねっと

<https://info.ninchisho.net/column> ユッキー先生の認知症コラム

